

全世界の約 24 億人 (41%) が 1 日 2 ドル以下、12 億人 (21%) が 1 日 1 ドル以下の極度の貧困状態 (2010 年 by 世界銀行 Povcal Net) の中で生活し、しかも富裕国と貧困国との格差は一貫して拡大し続け、先進国内の貧富の差も拡大し続けている現状において、貧困や格差の問題、如何に発展していくかは国際政治経済問題の大きな領域である。本講義では、貧困問題の概説、アジアを中心に第三世界都市貧困の現状、貧困者自身の様々な創意工夫のある試み・主体的運動及びその可能性、貧困解消に取り組む住民・NGO・国家・国際機関の役割について、貧困者の視点から現実を紹介しながら論じる。また、時間の許す限り日本国内での貧困問題についても言及したい。

【授業の目標】 グローバル化した現代社会のきわめて大きな問題である貧困と格差の現実を知り、それらを生み出す構造を理解する。その上で、すべての人がより人間らしく生きることのできる社会を作っていくために何が出来るのかを主体的に考え、実践できる人となることを目指す。

【授業時間以外の学習】 授業の内容をこまめに復習すること。毎回の授業のまとめは学期末のレポート提出の際に添付してもらう。この書き方については、初回の授業で説明する。また、扱う各テーマについて参考文献が示されている場合は、出来る限りそれを読み、理解を深めることが勧められる。学期末提出のレポート作成にも十分時間をさくこと。

【評価方法】 出席(30%)、授業参加 (10%)、リアクションペーパー (10%)、レポート (50%)
※受講生が 150 人を超えた場合、学期末レポートを学期末試験に変える可能性がある。
初回または 2 回目の授業で決定する。

【参考書】 幡谷則子、下川雅嗣 [編著] 『貧困・開発・紛争：グローバル／ローカルの相互作用』 (地域立脚型グローバル・スタディーズ叢書第 3 巻) 上智大学出版会・2008 年。

*その他の参考文献は、参考文献表及びその都度紹介する。

【授業計画】 (下記は主な項目予定であり、必ずしもこの順序で進めるとは限らない)

1. イントロダクション、貧困の定義
 2. 第三世界(発展途上国)の貧困問題概説 (課題、リソース)
 3. 第三世界(発展途上国)の貧困問題概説 (データ)
 4. 貧困と格差 (不平等)
 5. アジアの都市貧困層の現状と開発政策における位置付け
 6. アジアの都市貧困層の厳しい現実：強制排除の概要、都市 (再) 開発と貧困層の排除
 7. アジアの都市貧困層の厳しい現実：政府開発援助と貧困層の排除、居住権について
 8. 開発政策・貧困解消政策の方向性 (住民、NGO、国家、国際機関の役割)
 9. アジアの都市スラムの人々の可能性 I: 土地・住居へのアクセス、コミュニティ組織化
 10. アジアの都市スラムの人々の可能性 II: 貧困者居住運動 の発展
 11. アジアの都市スラムの人々の可能性 III: 信用・市場へのアクセス
 12. 新たな発展 (開発) モデル I : これまでの開発援助と視点を変える可能性
 13. 新たな発展 (開発) モデル II : 貧困者の歩み (People's Process) の発展
 14. 新たな発展 (開発) モデル III : People's Process のグローバルなネットワークへ
- 以上、アジアとあるのは、タイ、インド、パキスタン、カンボジア、インドネシア、フィリピン、韓国、ビルマ (ミャンマ) 等の事例を中心に。